

職域における 定期健康診断の有所見率

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会
 会長 柳澤 信夫
 (一財) 全日本労働福祉協会 長 濱 さつ絵
 都産健協広報部会長 市川 英一

I はじめに

東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）の事業部会では、事業場が推進する健康管理の参考データとして産業保健関係者に提供することを目的に、会員機関が実施した職域における健康診断のデータを収集し、性・年齢別、企業規模別及び業種別の有所見率を集計した。

II 方 法

1. 解析対象とした健康診断の実施機関

平成26年7月、東京都産業保健健康診断機関連絡協議会（都産健協）に加入する41機関へ調査表を配布し、9月上旬をめどに調査票を回収。40機関のうち18機関から報告があった。

2. 有所見の判定

各検査項目の有所見の判定は、各健診機関の医師がそれぞれ策定した判定基準を使用したもので、統一されたものではない。

3. 定期健康診断の実施期間

平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間に実施された健康診断について集計した。

III 結果

解析対象

男性 1,374,498人

女性 760,253人

合計 2,134,751人

男性は40-44歳が最も多く、次に35-39歳、そして30-34歳の順であった。女性は40-44歳が最も多く、次は25-29歳、45-49歳の順であった。

性・項目別の有所見率

男性で有所見率が高かったのは、

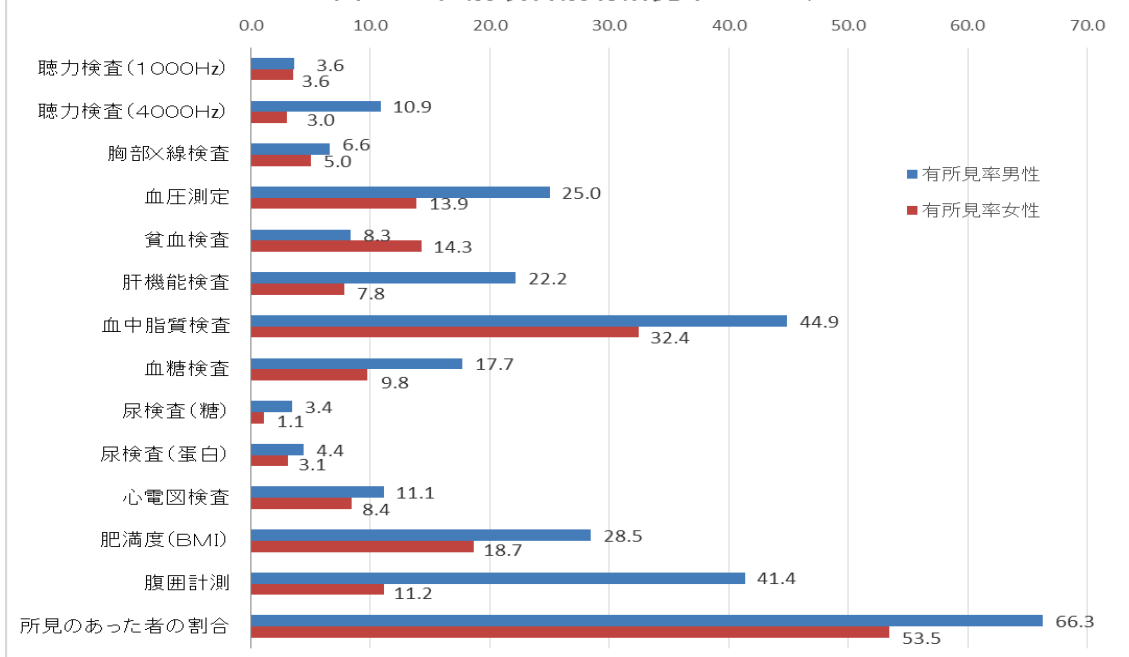
血中脂質検査44.9%、腹囲計測41.4%、肥満度(BMI)28.5%、血圧測定25.0%、

肝機能検査22.2%、血糖検査17.7%、心電図11.1%、聴力検査(4000Hz)10.9%の順であった。

表-1 性年齢別有所見率調査対象者の年齢構成

年齢	男		女	
	人数	%	人数	%
19歳以下	32,051	2.3	32,027	4.2
20-24歳	90,237	66	73,837	9.7
25-29歳	149,687	10.9	91,260	12.0
30-34歳	166,120	12.1	81,373	10.7
35-39歳	186,418	13.6	85,695	11.3
40-44歳	197,418	14.4	98,223	12.9
45-49歳	166,044	12.1	88,470	11.6
50-54歳	132,590	9.6	73,721	9.7
55-59歳	111,526	8.1	61,313	8.1
60-64歳	87,350	6.4	45,535	6.0
65歳以上	55,057	4.0	28,799	3.8

図一 性別項目別有所見率 2014年



女性で有所見率が高かったのは、血中脂質検査 32.4%、肥満度（BMI）18.7%、貧血検査 14.3%、血圧測定 13.9%、腹囲計測 11.2%、血糖検査 9.8%の順であった。

性別で比較すると

男性が女性よりも高かったのは、聴力検査（4000Hz）、胸部X線検査、血圧測定、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、尿検査（糖・蛋白）、心電図、肥満度（BMI）、所見のあった者の割合、腹囲計測であった。一方、女性が高い項目は貧血検査のみであった。聴力検査（1000Hz）のみ男女同じであった。

表一 性年齢別有所見率 2014年

項目	性別	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
聴力検査(1000Hz)	M	1.3	1.0	1.0	1.1	1.3	1.7	2.3	3.5	6.1	10.5	20.6	3.6
	F	1.6	0.9	1.0	1.1	1.3	1.8	2.5	3.7	5.9	10.1	19.6	3.6
聴力検査(4000Hz)	M	1.0	0.9	1.2	1.9	3.2	5.1	8.0	13.0	22.3	34.8	51.3	10.9
	F	0.7	0.6	0.6	0.8	1.0	1.3	1.7	2.8	5.0	9.2	20.8	3.0
胸部X線検査	M	1.1	1.9	2.5	2.9	4.0	5.7	7.1	8.7	11.8	14.8	20.9	6.6
	F	0.9	1.9	2.9	2.6	3.2	3.8	4.7	6.3	8.3	11.1	19.2	5.0
血圧測定	M	7.5	10.1	10.4	13.0	17.1	22.8	29.9	37.4	44.0	47.1	49.5	25.0
	F	1.9	3.9	4.9	6.3	8.2	11.1	15.9	21.3	26.3	31.8	40.5	13.9
貧血検査	M	5.1	4.8	5.2	5.9	7.0	7.7	8.3	9.4	10.8	12.4	18.0	8.3
	F	10.2	10.0	10.9	13.0	15.6	18.9	20.8	14.6	9.4	8.8	12.2	14.3
肝機能検査	M	10.0	11.0	14.6	19.0	23.0	25.5	26.1	26.0	24.6	22.0	19.8	22.2
	F	2.4	2.9	3.7	5.2	6.4	6.9	8.0	11.2	12.6	12.1	13.2	7.8
血中脂質検査	M	19.6	21.5	27.3	35.8	43.9	49.5	52.4	53.7	53.2	50.7	48.5	44.9
	F	15.5	14.6	16.0	19.2	23.6	26.8	33.5	44.9	53.0	55.9	57.6	32.4
血糖検査(及び又はヘモグロビンA1c)	M	3.2	3.5	4.5	6.4	10.4	15.3	21.0	27.0	33.0	35.1	35.7	17.7
	F	2.8	3.0	3.0	3.7	5.6	7.3	9.8	13.5	17.6	21.9	27.7	9.8
尿検査(糖)	M	0.5	0.5	0.7	1.1	1.7	2.8	4.1	5.8	7.5	8.5	8.9	3.4
	F	0.3	0.3	0.4	0.5	0.7	0.9	1.1	1.4	1.9	2.5	3.3	1.1
尿検査(蛋白)	M	4.0	3.7	3.2	3.3	3.9	4.3	4.5	4.9	5.5	6.3	8.2	4.4
	F	3.4	3.8	3.3	3.0	3.0	3.2	2.9	2.5	2.4	2.7	5.1	3.1
心電図検査	M	5.6	6.2	6.3	6.6	7.3	8.6	10.3	12.6	16.0	18.7	24.1	11.1
	F	4.8	3.8	4.4	5.3	6.2	6.5	7.5	9.4	10.8	12.3	22.1	8.4
肥満度(BMI)	M	15.1	18.7	21.8	24.7	29.0	31.7	32.5	32.4	31.8	31.5	33.0	28.5
	F	9.2	11.3	15.8	18.3	19.7	19.8	20.4	20.9	21.6	22.5	24.0	18.7
所見のあった者の割合	M	19.1	37.8	43.7	52.6	64.4	71.8	76.6	81.1	85.4	88.1	90.5	66.3
	F	11.1	27.5	36.7	43.6	52.0	57.5	63.2	69.2	74.8	79.0	82.8	53.5
腹囲計測	M	15.4	19.0	25.6	32.1	36.8	41.7	45.4	47.3	48.6	49.4	49.1	41.4
	F	3.7	3.4	5.3	6.5	8.3	10.2	11.4	13.0	14.9	16.8	19.6	11.2

年齢別の有所見率を男女別に比較すると

多くの年齢層において男性の有所見率が女性より高い項目は

聴力検査（4000Hz）、血圧測定、肝機能検査、血糖検査（及び・またはヘモグロビンA1c）、尿検査（糖）であった。

ある年齢までは男性の有所見率が女性より高く、それより高齢になると逆に女性の有所見率が男

性より高い項目は 血中脂質検査のみである。

また、ある年齢までは女性の有所見率が男性より高く、それより高齢になると逆に男性の有所見率が女性より高い項目は 貧血検査 であった。

* 所見のあった者の割合は全ての年代において 男性が高くなっている。

性・年齢・項目別の有所見率

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率が高くなっている項目は

聴力検査 (1000Hz)、聴力検査 (4000Hz)、胸部X線検査、血圧測定、血糖検査 (及び・またはヘモグロビンA1c)、尿検査 (糖)、心電図検査である。

血中脂質検査

男性……50-54歳までは増加傾向、それ以後は減少傾向。

女性……年齢が高くなるほど有所見率が高く、50歳以上の有所見率は特に高い。

肝機能検査

男性……45-49歳までは増加傾向、それ以後は徐々に減少傾向。

女性……年齢が高くなるほど有所見率は高い。

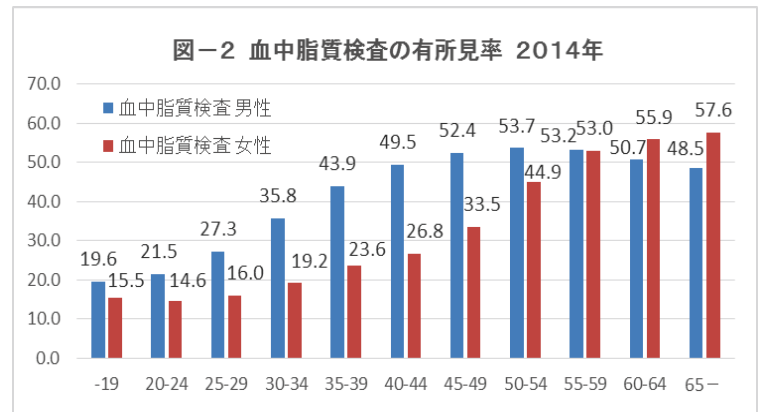
貧血検査

男性……年齢が高くなるほど有所見率は高い。

女性……45-49歳までは年齢が高くなるほど有所見率は高い。50歳以上有所見率低下。

所見のあったものの割合

男性、女性とも年齢が高くなるほど有所見率も高くなっている。



企業規模別コメント

企業規模別の有所見率

企業規模は50人未満と50人以上に分け、集計を行った。対象となった人数は、50人未満の男性は121,115人、女性49,900人に対し、50人以上の男性は308,816人、女性150,674人で、各年代のn数は今回の調査で初めて各年代とも1,000人を超える人数となった。

50人未満と50人以上の有所見率を比較すると、過去の調査では男性、女性とも50人未満の企業規模の有所見率が高くなっていたが、今回の調査では逆に50人以上が有所見率が高い結果であった。なお、加齢によって有所見率は、男女とも概ね年齢が上がるとともに有所見率が増加する傾向が見られた。

表-3 企業規模別性年齢別有所見率 2014年

性別	規模	-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-	合計
男	50<	45.9	47.5	52.1	59.3	71.3	78.1	83.6	87.8	90.4	90.9	89.5	76.5
	50≥	26.7	39.5	44.1	48.3	61.7	70.1	75.4	80.4	85.6	90.2	95.6	65.5
女	50<	43.3	43.6	49.4	53.3	60.6	65.8	71.1	76.2	80.3	82.0	74.0	66.2
	50≥	34.8	41.8	45.4	50.3	56.4	61.3	67.5	73.8	80.2	85.7	91.2	62.8

業種別コメント

業種別の有所見率

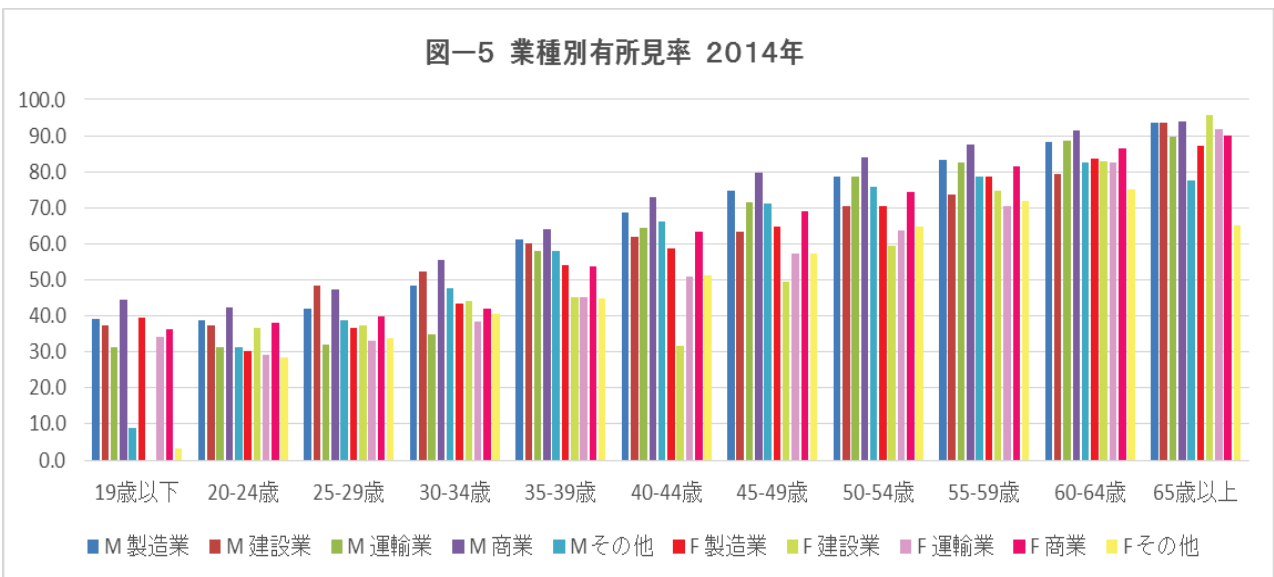
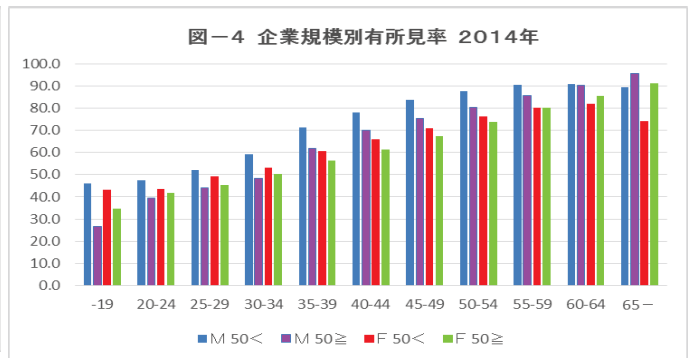
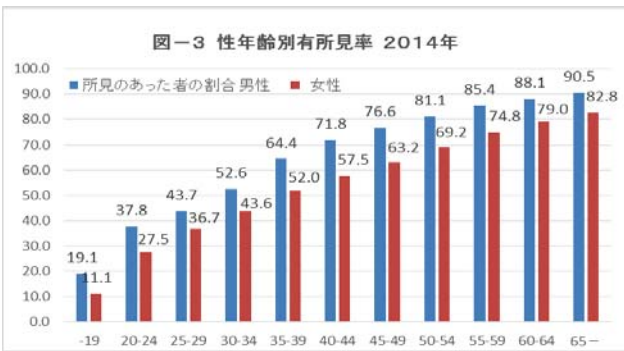
業種別は、製造業、建設業、運輸業、商業、その他の五つの区分に分け集計を行った。各業種の集計人数は、製造業男性53,641人、女性17,248人、建設業男性8,513人、女性1,020人、運輸業男性69,222人、女性24,558人、商業男性15,175人、女性16,425人、その他男性119,714人、女性108,847人となっていた。この内、19歳以下の年代は各業種の年代の構成比率として全般的に低い数値であった。

業種による有所見率は、今回も男性女性とも運輸・商業・その他の業種がやや高い結果となっていた。逆に低かったのは、女性の建設・製造業であった。なお、加齢による有所見率は、男女・各業種のいずれにおいても加齢とともに有所見率が増加する傾向にある。

性別	業種	19歳以下	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65歳以上	合計
男性	製造業	39.0	38.7	42.0	48.5	61.1	68.8	74.7	78.8	83.3	88.3	93.5	64.7
	建設業	37.5	37.3	48.4	52.3	60.0	62.0	63.4	70.4	73.7	79.3	93.6	64.3
	運輸業	31.2	31.2	32.0	35.0	57.9	64.6	71.6	78.5	82.6	88.4	89.8	62.3
	商業	44.6	42.3	47.2	55.5	63.9	73.1	79.6	84.1	87.7	91.5	94.0	66.2
	その他	9.0	31.5	38.6	47.6	58.1	66.1	71.2	75.8	78.6	82.4	77.4	57.2
女性	製造業	39.5	30.2	36.7	43.5	54.1	58.9	64.8	70.6	78.8	83.6	87.1	56.2
	建設業	0.0	36.8	37.5	44.1	45.3	31.6	49.6	59.4	74.7	82.8	95.6	51.1
	運輸業	34.0	29.0	32.9	38.4	45.3	50.8	57.5	63.7	70.6	82.6	91.7	52.6
	商業	36.3	38.0	39.9	41.9	53.9	63.5	69.1	74.5	81.4	86.4	90.1	63.3
	その他	3.1	28.4	33.9	40.6	44.8	51.2	57.2	64.6	71.9	74.9	65.2	47.4

IV まとめ

性・年齢別有所見率調査の結果は昨年の有所見率調査結果に比べと項目によって変動はあるが、大きな相違はなく、所見のあった者の割合は男性が女性より高く、男女とも年齢が高くなるほど高くなっている。項目別有所見率は、男女とも血中脂質検査が高く、性別で見ると、貧血検査以外は男性が女性より高くなっている。先ごろ公表されたわが国の有所見率は53.2%で、昨年をわずかに上回り、今回も右肩上がり傾向に歯止めはかかっていない。一昨年公表された第12次労働災害防止計画や安衛法の改正等、健康管理については健康診断の実施と事後措置等の徹底が求められている。



東京都産業保健健康診断機関連絡協議会

事務局連絡先: 〒113-0024 東京都文京区西片1-15-10 (医社) 同友会 内

TEL 03-3816-2250 FAX 03-3818-9277

事務局責任者 渡辺 新吉 2015.11.25